

二字の漢字の言葉の組み立て

たしかめ いっしょに やってみよう (3もん)

きょうの
めあて

二字の漢字の言葉が、どう組み立てられているか考えよう

まず、たしかめよう

- にたいみの組み合わせ：森林（森＋林）・道路（道＋路）
- はんたいのいみの組み合わせ：左右・上下・売買・勝負
- 上の字が、下の字をくわしくする：青空（青い空）・高山（高い山）

いっしょにやってみよう

れい 「前後」は どの組み立て？

ステップ①

「前」と「後」に
分ける。

ステップ②

前と後ろは
はんたいのいみ。

ステップ③

はんたいのいみ
の組み合わせ

やってみよう

できたところまでで OK

① はんたいのいみの組み合わせはどれ？

☐ 強弱

☐ 岩石

☐ 大木

② にたいみの組み合わせはどれ？

☐ 岩石

☐ 多少

☐ 新年

③ □に、はんたいのいみの漢字を書こう。

大

前

出来事のじゅんじょ

たしかめ いっしょに やってみよう (3もん)

きょうの
めあて

お話の出来事を、じゅんじょよく読みとろう

お話を読もう

- ある日、こぐまのポポは、はちみつをつぼを見つけた。
- ポポは、つぼを持って帰るとちゅう、石につまずいてしまった。つぼはころころ転がって、川に落ちた。
- がっかりしていると、川下で魚つりをしていたかわうそが、つぼをひろってとどけてくれた。ポポは、はちみつをかわうそと半分ずつ食べた。

いっしょにやってみよう

れい お話のはじめに おきたことは？

ステップ ①

①の段落を
読む。

ステップ ②

「つぼを
見つけた」

ステップ ③

ポポが はちみつの
つぼを見つけた

やってみよう

できたところまでで OK

① 出来事のじゅんに、記号をならべよう。

ア つぼが川に落ちた イ つぼを見つけた ウ かわうそが とどけてくれた
() → () → ()

② つぼが落ちたのは どこ？

☐ 川 ☐ 山 ☐ 家

③ さいごに ポポは何をした？

答え 1. イ→ア→ウ 2. 川 3. はちみつをかわうそと半分ずつ食べた

かんじ
漢字（スポーツ）

🔍 たしかめ --- 🗨️ いっしょに --- ✎ やってみよう（2もん）

🚩 きょうの
めあて

スポーツの漢字「球・勝・負・級」を読んで書こう

🔍 きょうの漢字

球

音 キュウ

くん

訓 たま

やきゅう でんきゅう
野球・電球

勝

音 ショウ

くん

訓 か（つ）

か しょうぶ
勝つ・勝負

負

音 フ

くん

訓 ま（ける）

ま しょうぶ
負ける・勝負

級

音 キュウ

じょうきゅう いっきゅう

上級・一級

🗨️ いっしょにやってみよう

🗨️ 「しあいにかつ」の「かつ」は？

① 負けるのはんたい

② 「勝つ」と書く

③ 答え 勝つ

✎ やってみよう

♥️ できたところまでで OK

① 線の漢字の読みがなを書こう。

(1) 野球をする。

(2) 勝負をする。

(3) 勝っても負けてもいい。

(4) 上級のコース。

② □に漢字を書こう。

(1) 電 をかえる。

(2) ゲームに つ。

(3) 一点さで ける。

(4) 一 上がる。

答え 1. (1) きゅう (2) しょう (3) ま (4) きゅう 2. (1) 球 (2) 勝 (3) 負 (4) 級

しょうかいする文

たしかめ --- いっしょに --- やってみよう (3もん)

きょうの
めあて

すきなものを えらんで、よいところを しょうかいしよう

まず、たしかめよう

- しょうかいする文は、何をしょうかいするか → どんなものか → よいところ の
じゅんに書く。

いっしょにやってみよう

れい すきな絵本「くものうえのパンやさん」

ステップ ①

何を? → 絵本

ステップ ②

どんな? → 雲の上で
パンを作る話

ステップ ③

よいところ →
絵がやさしい

やってみよう

♥ できたところまでで OK

1 しょうかいする文の さいしょに 書くことは?

☐ 何をしょうかいするか

☐ よいところ

☐ ねだん

2 しょうかいしたいものを えらんで、よいところを2つ書こう。

☐ 本

☐ 食べ物

☐ 生き物

☐ ばしょ

☐ あそび

(1)

(2)

3 2のメモをつかって、しょうかいする文を書こう。

答え

1. 何をしょうかいするか 2. 例: (本) 絵がきれい・さいごに おどろく

3. 例: わたしがしょうかいするのは、「ねこのたび」という本です。絵がとてもきれいです。さいごに おどろく
ことがおこるので、読んでみてください。

きょうの
めあて

体の名前を使った慣用句のいみを知ろう

まず、たしかめよう

- 二つ以上の言葉が むすびついて、もとと ちがういみになる言い方を **慣用句** という。
- 手をかす...手つだう / 耳をすます...よく聞こうとする
- 首を長くする...楽しみに待つ / 鼻が高い...とくいになる

いっしょにやってみよう

れい 「友だちに手をかす」とは？

① 本当に手を
かすのではない。

② 何かをいっしょに
する、ということ。

③ 手つだう

やってみよう

できたところまでで OK

① 「首を長くして待つ」に合うのは？

- ☐ たのんだ本が とどくのを、楽しみにまっている
- ☐ 首がいたくて、じっとしている

② 「耳をすます」に合うのは？

- ☐ 小さな虫の声を聞こうと、しずかにした
- ☐ 耳を水であらった

③ () に体の名前を漢字で書こう。「ほめられて、() が高い。」

はな
 が高い

答え 1. たのんだ本が とどくのを、楽しみにまっている 2. 小さな虫の声を聞こうと、しずかにした 3. 鼻